

ロボットハウス・ロボットタウンの整備

事業内容

生活支援ロボットの実用化や普及を促進するため、実際の生活空間の中に溶け込んだ形でロボットを体験してもらい親近感を醸成するショールーム的な施設（住宅展示場のモデルハウスを活用したロボットハウス、建売分譲地を活用したロボットタウン）を整備する。あわせて、来場者アンケートを実施することで、ロボット開発企業や住宅メーカー等が、マーケティング等に活用できるようにする。

ロボットハウス

- ・特区内の住宅展示場モデルハウスで、生活支援ロボットを身近に体験
- ・年間を通じて実施する施設と、2週間程度ずつ巡回して実施する施設を予定

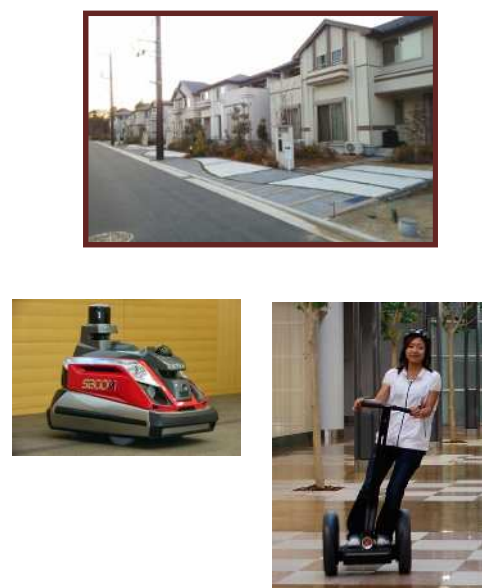
ロボットタウン

- ・実際に販売する建売分譲地で、生活支援ロボットを身近に体験
- ・年間を通じて実施し、屋内のほか、屋外型ロボットも実演・体験

～ 実施イメージ ～



～ 実施イメージ ～



生活支援ロボット普及協力施設認定制度

幅広いメーカーの生活支援ロボットを展示するロボットハウス、ロボットタウン以外にも、特定メーカーの生活支援ロボットの体験機会を提供する県内のモデルハウス、ショールーム、福祉施設等を公募し、普及協力施設として認定する。認定施設には、表示を交付するなど、県民に広く周知する。